

## デキサメタゾン製剤の制吐薬としての開発について

デキサメタゾン製剤の制吐薬としての開発に関する要望については、第3回医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議で医療上の必要性が高いと判断され、MSD株式会社及びセルジーン株式会社に対し、平成22年10月27日に開発要請を行ったところである。平成26年2月14日に日医工株式会社（MSD株式会社より承継）によって、同製剤が承認された。今般、本要望について、要望者（日本臨床腫瘍学会及び卵巣がん体験者の会スマイリー）より、下記のとおり要望の取り下げに関する申出が提出され、受理したので、報告する。

## 1. 要望の概要

要望番号	成分名	要望内容	要望者
176	デキサメタゾン	抗悪性腫瘍薬（シスプラチンなど）投与に伴う消化器症状（悪心・嘔吐）の予防  ※4mg 製剤の剤形追加に係る要望	日本臨床腫瘍学会  卵巣がん体験者の会スマイリー

## 2. 要望者からの要望の取り下げに関する申出

デキサメタゾン製剤は当時、デカドロン錠 0.5mg が制吐薬として薬事承認されていたが、その後、日医工株式会社により同錠 4mg が開発され承認されたため、要望を取り下げます。